

わたしのだいじな島浦町

延岡市立島野浦学園 3年 山下 みちる

みなさんは、魚つりをしたことがありますか。わたしが初めて魚つりをしたのは、3才くらいの時だったそうです。その時のことはあまり覚えていないけれど、お母さんとおじいちゃんと3人でつりをしたそうです。わたしとお母さんでさおをもち、魚がかかったらおじいちゃんにわたして魚をあげてもらったそうです。魚がかかったとき、とても重かったことは覚えています。

わたしのおじいちゃんは、島のみんなから「つり名人」と呼ばれています。おじいちゃんは船でタイヤイセエビ、ハマチ、カサゴなどをつります。ときどきつった魚をわけてくれます。おじいちゃんがつってくれる魚は、からあげやおさしみにして食べます。とてもおいしいです。熊本からいとこたちが来た時も、つりの道具をじゅんびしてくれました。いとこの家の近くには海がないので、島に来たときにしか海で遊べません。だから楽しいと言っていました。みんなとつりができて、わたしも楽しかったです。いとこたちとつった魚をみんなで食べました。みんなで食べてもあまるくらいたくさんつれたので、おなかいっぱいになりました。だれでも魚つりを楽しめて、おいしい魚を食べられることは、島浦のじまんです。

島浦のじまんはほかにもあります。それは、きれいな海です。島浦の海は、とうめいで、底がきれいに見えます。底が見えるので、深い所にいる魚やさんごもよく見えます。

夏には、学校でシーカヤックやスノーケリングの行事があります。スノーケリングではさんごや魚やクラゲが見えます。シーカヤックでは、メガサップやカヌーをこいだり、そこから海にとびこんだりします。遊びすぎてつかれるけど、とても楽しいです。

また、島浦は海にかこまれているので、船で一周することができます。いとこが来たときは、おじいちゃんの船で島を一周しました。島のうらがわには、波の力でできた岩のトンネルがあります。そこを船で通りました。いとこは、初めて見たとびっくりしていました。波が高いと船がゆれるけど島を一周できることも島のじまんです。

島浦には、遠見場山（とんばやま）という山があります。春にはミツバツツジがさきます。アサギマダラというチョウもやって来ます。春に満開になるツツジはぜひ見てもらいたいです。遠見場山のちょう上からはみんなの家や海、船が小さくきれいに見えます。海がお日様にあってキラキラと輝く景色はとてもきれいです。お弁当をもって行くと、景色を見ながら食べられるので、最高です。

わたしは、たくさんの人に島浦に来てほしいです。そして、島浦のよさを知ってほしいです。これがわたしの大事な場所、島浦です。

